

お知らせ

2026・2027 年度
日本化学会会長最終候補者選出のための会員投票で
森川 宏平氏 内定

会長 丸岡 啓二

2026・2027 年度の会長を選出するための会員投票を、本会ホームページおよび『化学と工業』、『化学と教育』3月号誌上で会員各位に案内し、海外在住の外国人会員を含む個人正会員、教育会員、名誉会員および入会後2年以上を経過した学生会員を対象に、3月17日～4月16日の期間でウェブ投票を実施しました。

翌4月17日に、会務部門担当理事、常務理事立会いのもとに開票を行った結果、森川 宏平氏（株式会社レゾナック・ホールディングス取締役 取締役会議長）が信任され、5月9日開催の理事会で承認されました。

定款では代表理事である会長は理事会の決議によって理事の中から選任されることになっています。したがって、森川 宏平氏は、2026年5月の定時社員総会で理事として選任され、その後の理事会で会長に選任されるまでは、会長最終候補者という扱いになります。

会長最終候補者が2026年5月の理事会で会長に選任された場合、任期は2026年5月定時社員総会開催日～2028年5月定時社員総会開催日になります。

ご投票にご協力をいただきました会員各位に対し厚くお礼申し上げます。

第78回定時社員総会開催報告

会長 丸岡 啓二

標記第78回定時社員総会は2025年5月26日(月)本会5階会議室において開催され、下記事項が可決されました。

報告事項：

第1号 2024年度（2024年3月1日～2025年2月28日）事業報告の件

第2号 2024年度名誉会員推戴の件

決議事項：

第1号議案 2024年度（2024年3月1日～2025年2月28日）貸借対照表、正味財産増減計算書、および財産目録の件

第2号議案 理事および監事選任の件

(電磁的方法による議決権行使社員数69名、有効委任状90通、出席社員6名)

当日の報告事項・決議事項については、本会ホームページに掲載いたします。

下記URLからお入りいただけますので、ご覧下さい。

<https://www.chemistry.or.jp/societyguide/disclose/index.html>

2025年度役員紹介

(2025年5月26日就任時点)

会長 (代表理事)
丸岡 啓二

京都大学大学院薬学研究所 特任教授。1980年ハワイ大学大学院化学科博士課程修了、Ph.D.取得。同年7月名古屋大学工学部応用化学科助手、85年7月同学講師、90年1月同学助教授、95年4月北海道大学大学院理学研究科教授、2000年4月京都大学大学院理学研究科教授、09年4月日本学術振興会システム研究センター・プログラムオフィサー、13年～14年日本化学会理事、16年～17年日本化学会近畿支部長、17年～18年日本化学会副会長、18年～19年日本化学会筆頭副会長、19年日本化学会名誉会員、同年4月現職。24年より日本化学会会長（代表理事）。受賞：井上学術賞(2000)、市村学術賞(2002)、有機合成化学協会賞(2003)、名古屋メダル・シルバーメダル(2004)、グリーン・サステイナブル・ケミストリー賞(2006)、日本化学会賞(2006)、文部科学大臣賞(2006)、モレキュラー・キラリティー賞(2007)、ノバルティス・レクチャーシップ賞(2007/2008)、中日文化賞(2010)、Arthur C. Cope Scholar Award(2011)、紫綬褒章(2011)、Humboldt Research Award(2011)、東シ科学技術賞(2012)、京都新聞大賞・文化学術賞(2012)、高砂香料国際賞・野依賞(2016)、日本学士院賞(2018)、日本化学会化学教育賞(2021)、藤原賞(2022)、Ryoji Noyori ACES Award(2023)、Professor S. Chandrasekaran Endowment Lecture Award(2025)。専門：有機合成化学、有機触媒化学。

筆頭副会長
ばば よしのぶ
馬場 嘉信

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (QST) 量子生命科学研究所 所長, 名古屋大学量子化学イノベーション研究所 特任教授, 日本化学会 (第三部) 連携会員。1986年九州大学理学研究科博士課程修了 (理学博士)。同年大分大学助手, 90年神戸薬科大学講師, 97年徳島大学教授, 2004年名古屋大学工学研究科教授, 18年同ナノライフシステム研究所長, 24年同量子化学イノベーション研究所特任教授, 17年 JST CREST 研究総括, 19年 QST 量子生命科学研究所長, 20年 NEDO TSC フェロー, 20年 仏 ONCOLille 国際科学諮問委員, 20年 文部科学省 Q-LEAP 代表者, 21年 日本化学会東海支部長, 21年 文部科学省 ARIM バイオマテリアル拠点長, 24年 日本化学会 連携会員。受賞: 独国 Heinrich Emanuel Merck Award (2004), Fellow, Royal Society of Chemistry (2005), 日本化学会学術賞 (2008), 日本分析化学会賞 (2015), 文部科学大臣表彰 科学技術賞 (2016), 寺部茂賞 (2016), 日本化学会賞 (2021), 化学とマイクロ・ナノシステム学会賞 (2021), 紫綬褒章 (2021)。専門: ナノバイオサイエンス, 分析化学, 量子生命科学。

常務理事
すずき しんいち
鈴木 慎一

公益社団法人日本化学会 常務理事。1984年東京農工大学工学研究科繊維高分子工学専攻修士課程修了。同年4月三菱油化 (株) (現三菱ケミカル (株)) 入社。中央研究所 高分子研究室に配属。情報電子材料, デバイスの研究開発に従事。2004年光電材料研究所所長 ディスプレイ部材開発プロジェクトリーダー, 07年人事部 採用・人材開発 採用担当グループマネージャ, 09年 (株) 三菱化学科学技術研究センター 取締役 総務部長。13年日本化学会学術情報部 (ジャーナル担当) 参与, 16年~25年5月事務局長。専門: 高分子化学, 技術経営。

副会長
いし いし
石井 洋一

中央大学理工学部 教授, 同学副学長。1986年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了, 工学博士。87年6月東京大学工学部助手, 95年4月同大学院工学系研究科助手 (改組), 96年3月同学講師, 98年11月同学助教授, 2002年4月より中央大学理工学部教授。09年11月~13年10月同学理工学部長, 理工学研究科委員長。20年4月~24年5月同学研究開発機構長。24年5月より同学副学長。受賞: 有機合成化学協会 第一製薬研究企画賞 (1994)。専門: 有機金属化学。

さとう かずひこ
佐藤 一彦

国立研究開発法人産業技術総合研究所 材料・化学領域 招聘研究員。北海道大学客員教授, 岐阜薬科大学客員教授, 埼玉大学連携教授。1990年東北大学大学院理学研究科博士課程修了, 同年1月理学博士。90年名古屋大学大学院理学研究科助手, 2000年工業技術院主任研究官 (01年産総研に改組), 05年同所研究グループ長, 08年同所主幹研究員, 11年同所企画本部総括企画主幹, 13年同所触媒化学融合研究センター長, 23年領域長補佐, 25年4月より現職。16年~18年日本化学会理事, 16年~有機合成化学協会関東支部幹事, 18年~ケイ素化学協会常任理事, 18年~20年日本化学会学術委員会「情報科学との融合による新化学創成」小委員会幹事。08年~12年経済産業省グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発 (革新的酸化) 研究代表者, 12年~22年経済産業省未来開拓研究 (有機ケイ素) プロジェクトリーダー。15年~フロー精密合成コンソーシアム (FlowST) 会長。受賞: 有機合成化学奨励賞 (2002), 化学・パイオつくば賞 (2008), 第8回産学官連携功労者表彰 (内閣府, 2010), 産総研理事長賞 (2011), グリーン・サステイナブルケミストリー奨励賞 (2014)。専門: 触媒化学, 有機合成化学, 研究マネジメント, 産学連携。

たけなか まさみ
竹中 克

旭化成株式会社 上席執行役員 兼 グリーンソリューションプロジェクト長。1986年3月東京工業大学工学部高分子工学科卒, 同年4月旭化成工業 (株) [現 旭化成 (株)] 入社。90年9月英国ブラッドフォード大学大学院工学専攻博士課程入学, 93年7月同学博士課程卒。2015年4月旭化成エレクトロニクス (株) 理事 生産センター長, 17年4月旭化成 (株) 理事 兼 クリーンエネルギープロジェクト長, 18年4月旭化成ヨーロッパ GmbH 理事 兼 クリーンエネルギープロジェクト長, 20年4月旭化成 (株) 執行役員 兼 研究・開発本部 技術政策室長, 21年4月旭化成 (株) 上席執行役員 兼 研究・開発本部長, 24年4月旭化成 (株) 上席執行役員 兼 グリーンソリューションプロジェクト長。専門: 高分子合成, 微細加工。

はし たかし
林 高史

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授。1990年3月京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得認定退学。同年4月京都大学工学部合成化学科助手, 97年7月九州大学工学部物質科学科助教授, 2005年4月大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻教授。18年~20年錯体化学会副会長。19年度~近畿化学協会理事。19年度~20年度日本化学会理事。22年度~24年度 JSPS 学術システム研究センター 専門研究員。2023年度日本化学会近畿支部長。受賞: 日本化学会学術賞 (2009), フンボルト賞 (2023)。専門: 生物無機化学, 生体機能関連化学。

ほうじょう のぶよし
鳳城 延佳

出光興産株式会社 生産技術センター長。1993年東京理科大学理工学部工業化学科卒業。同年4月出光興産株式会社 入社, 2018年4月経営企画部統合準備室長, 同年8月一橋大学大学院経営管理研究科国際企業戦略専攻修了 (MBA), 21年4月北海道製油所副所長, 24年6月生産技術センター長。公益社団法人日本プラントメンテナンス協会理事。専門: 化学プロセス工学, 経営学。

理事
あとべ まひと
跡部 真人

横浜国立大学大学院工学研究院 副研究院長 教授。1996年9月東京工業大学大学院総合理工学研究科電子化学専攻博士課程中途退学, 98年9月同学博士 (工学)。96年10月東京工業大学大学院総合理工学研究科助手, 2002年7月同学講師, 07年3月同学准教授, 10年7月横浜国立大学大学院環境情報研究院教授, 19年4月より現職。18年~23年 JST CREST 研究リームリーダー。23年日本化学会関東支部長。25年~電気化学会副会長。受賞: 電気化学会進歩賞・佐野賞 (2003), 文部科学大臣表彰 若手科学者賞 (2009), 電気化学会フェロー表彰 (2024)。専門: 有機電気化学, 電解合成。

いがらし たつや
五十嵐 達也

富士フイルムホールディングス株式会社 経営企画部 統括マネージャー。1991年3月東京工業大学工学部化学工学科卒。93年3月東京工業大学大学院理工学研究科応用化学専攻修士課程修了。同年4月富士写真フイルム株式会社 入社。2018~23年さきがけ領域アドバイザー: (反応制御) 電子やイオン等の能動的制御と反応。専門: 有機合成, 機能性材料。

いしはら かずあき
石原 一彰

名古屋大学大学院工学研究科 教授, 日本化学会協議会員。1991年名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程修了, 工学博士。同年米国ハーバード大学博士研究員, 92年名古屋大学工学部助手, 97年同学難処理人工物研究センター助教授, 2002年より現職。15年2月~17年2月有機合成化学協会東海支部支部長, 17年3月~21年2月日本化学会環境・安全化学・グリーンケミストリー・サステイナブルケミストリーディビジョン主査, 18年5月~20年4月日本化学会役員理事。受賞: 日本化学会進歩賞 (1996年), グリーン・サステイナブルケミストリー文部科学大臣賞 (2003年), 日本学術振興会賞 (2005年), 日本 IBM 科学賞 (2007年), Mukaiyama Award (2009年), 井上学術賞 (2011年), 市村学術賞 (貢献賞) (2013年), 矢崎学術賞 (功績賞) (2013年), ヨウ素学会賞 (2015年), 有機合成化学協会賞 (学術的) (2016年), 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 (研究部門) (2017年), 日本化学会賞 (2018年)。専門: 有機合成化学, 触媒化学。

おおうち まこと
大内 誠

京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻 教授。2001年京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻博士課程修了, 同年5月同学工学博士。2001年4月株式会社豊田中央研究所研究員。04年9月京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻助手, 07年4月同大学院工学研究科 (改組), 10年8月同学准教授, 17年8月より現職。受賞: 高分子学会第57回高分子研究発表会 (神戸) ヤングサイエンティスト講演賞 (2011), 高分子学会 Polymer Journal 論文賞-日本ゼオン賞 (2013), 高分子学会学術賞 (2017)。専門: 高分子合成。

おおつか ひでゆき
大塚 英幸

東京科学大学物質理工学院 教授。1996年九州大学大学院工学研究科博士課程早期修了，博士（工学）。96～97年英国パーミンガム大学客員研究員，97年東京工業大学助手，2000年九州大学助教授，07年同学准教授（職名変更），13年東京工業大学教授，大学統合により24年10月より現職。10～16年日本化学会欧文誌BCSJ編集委員，19～20年度日本化学会高分子ディビジョン主査，21年度日本化学会関東支部副支部長，22年度同支部長。受賞：文部科学大臣表彰若手科学者賞（2005），高分子学会Wiley賞（2012），日本ゴム協会プリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞（2013），日本化学会学術賞（2022）。専門：高分子化学，高分子反応，機能性高分子材料設計。

おかもと あきみつ
岡本 晃充

東京大学大学院工学系研究科化学系生命工学専攻 教授。1998年京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻博士後期課程修了，博士（工学）。98～99年マサチューセッツ工科大学化学科博士研究員，99～2006年京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻助手，06～11年理化学研究所独立主幹研究員，11～12年同准主任研究員，12～22年東京大学先端科学技術研究センター教授，22年より東京大学大学院工学系研究科化学系生命工学専攻教授。受賞：日本化学会進歩賞（2005年），文部科学大臣表彰若手科学者賞（2007年），日本学術振興会賞（2012年）。専門：有機合成化学，生物有機化学，核酸化学。

きくち かずや
菊地 和也

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 荣誉教授，大阪大学免疫学フロンティア研究センター（兼任）。1994年東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了，同年3月同学博士。94年7月UCSD博士研究員，95年7月スクリプス研究所博士研究員，97年1月東京大学薬学部助手，2000年12月同学助教授，05年7月大阪大学大学院工学研究科教授。25年～World Molecular Imaging Society, Board of trustees。受賞：日本学術振興会賞（2010），日本化学会学術賞（2012），科学技術分野の文部科学大臣表彰（2018）。専門：ケミカルバイオロジー。

こじま たかひこ
小島 隆彦

筑波大学数理工学系化学域 教授。1986年東京大学工学部合成化学科卒。91年東京大学大学院工学系研究科合成化学専攻博士課程修了，工学博士。同年4月ミネソタ大学化学科博士研究員。94年4月九州大学理学部助手。2005年11月大阪大学大学院工学研究科助教授。08年12月筑波大学大学院数理工学系研究科教授。11年10月同学数理工学系教授。受賞：王立化学協会 Fellow（2017年），平成30年錯体化学会学術賞（2018年），筑波大学 BEST FACULTY MEMBER（2019年，2025年），日本化学会 第37回学術賞（2020年），Asian Biological Inorganic Chemistry Conference (AsBIC) Outstanding Achievement Award（2024）。専門：錯体化学，酸化還元化学。

さとう としひみ
佐藤 敏文

北海道大学大学院工学研究院応用化学部門 教授。1996年北海道大学大学院工学研究科分子化学専攻博士後期課程修了，博士（工学）。1996年10月北海道大学大学院工学研究科助手，2007年4月同学准教授，13年4月同学教授。22年～23年度高分子学会理事・北海道支部長，18年より先端錯体工学研究会 副会長。受賞：高分子学会賞（2024），2015年度 先端錯体工学研究会賞（2016），高分子学会旭化成賞（2013）。専門：高分子合成化学。

しげもと いはむ
茂本 勇

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 技師長。1997年大阪大学大学院理学研究科無機及び物理化学専攻前期課程修了。同年4月東し株式会社入社。2013年大阪大学大学院理学研究科化学専攻後期課程修了，博士（理学）。20年東し株式会社先端材料研究所研究主幹，23年ダイキン工業株式会社テクノロジー・イノベーションセンター技師長。13年度日本化学会近畿支部副支部長，24～25年度 HPCI コンソーシアム理事。専門：理論化学，計算化学，マテリアルズ・インフォマティクス。

しまの えけんごう
島ノ江憲剛

九州大学大学院総合理工学研究院物質科学部門 教授。1985年3月九州大学大学院総合理工学研究科材料開発工学専攻修士課程修了，93年同学博士（工学）。1985年4月～95年7月新日本製鐵株式会社第一技術研究所および先端技術研究所，1995年8月九州大学助手（大学院総合理工学研究科），99年10月同学助教授，2005年1月同学教授（大学院総合理工学研究院）。10年4月～12年3月，14年4月～20年3月，22年4月～24年3月同学中央分析センター長。19年～20年日本化学会九州支部化学教育協議会議長兼副支部長，22年～23年日本化学会九州支部支部長。受賞：（公社）日本セラミックス協会学術賞（2017），2019 JCS-JAPAN 優秀論文賞（（公社）日本セラミックス協会），科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）（2025年）。専門：ガスセンサ，機能性セラミックス，電気化学。

しまもと けいこ
島本 啓子

公益財団法人サントリー生命科学財団 特任部長（兼）大阪大学大学院理学研究科 特任教授。1984年大阪大学理学部化学科卒業，86年同大学院理学研究科有機化学専攻博士前期課程修了，91年大阪大学博士（理学）。86年財団法人サントリー生物有機化学研究所入所，2001年同主席研究員，07年主幹研究員，11年公益財団法人サントリー生命科学財団（改称），17年同構造生命科学研究部部長，22年より現職。07～17年大阪市立大学大学院理学研究科客員教授（兼任），17年より大阪大学大学院理学研究科化学専攻特任教授（兼任）。受賞：第6回山崎貞一賞バイオサイエンス・バイオテクノロジー部門（2006），第31回日本化学会学術賞（2014）。専門：生物有機化学，天然物化学，糖鎖化学。

しみず ひみこ
清水 史彦

三菱ケミカル株式会社 グローバルリサーチパートナーシップ部長。1987年3月東京大学合成化学専門課程修了。同年4月旧・三菱化成工業（株）入社。以来，オレフィン重合触媒・機能性ポリオレフィンの開発に従事。2002年2月オランダ Twente 大学にて Ph.D. 取得。14年4月（株）三菱化学科学技術研究センター・合成技術研究所長。以降，有機材料・高分子材料系研究所の所長を歴任。24年7月グローバルリサーチパートナーシップ部長（現職）。受賞：高分子学会フェロー表彰（2021年）。専門：オレフィン重合触媒の開発，機能性ポリオレフィンの創出。

すずき ゆみこ
鈴木由美子

上智大学理工学部物質生命理工学科 教授。1996年静岡県立大学大学院薬学研究科博士後期課程修了，97年同学薬学部助手，2008年同学助教，10年同学講師。1999年～2000年米国コロンビア大学化学科博士研究員。12年上智大学理工学部准教授，22年同学教授。16年9月仏カン・ノルマンディー大学客員教授。14年～15年度，20年～21年度日本化学会関東支部幹事，23年～24年度日本化学会代表正会員。受賞：日本薬学会東海支部学術奨励賞（2007），第6回資生堂女性研究者サイエンスグラント（2013），長瀬研究振興賞（2022）。専門：有機合成化学，創薬化学。

ながせ しのぶ
長瀬 忍

花王株式会社 研究開発部門ヘアケア研究所 主席研究員。1991年北海道大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了。同年花王株式会社入社（基礎科学研究所），96年花王株式会社化粧品研究所，2003～05年ニュージーランド羊毛研究所（WRONZ）出向，05年花王株式会社ヘアケア研究所，18年より現職。受賞：米国化粧品化学者会優秀論文賞（2003），日本化粧品技術者会誌優秀論文賞（2019）。専門：分析化学，高分子化学，界面化学，生体機能関連化学。

ひしかわ あきよし
菱川 明栄

東海国立大学機構名古屋大学物質科学国際研究センター 教授。1994年3月京都大学大学院工学研究科博士課程修了，博士（工学）。同年4月東京大学大学院総合文化研究科助手，98年2月同学大学院理学系研究科講師，99年10月同学大学院理学系研究科助教授，2003年4月分子科学研究所助教授，05年9月科学技術振興機構 さきがけ研究者（兼任～08年3月），10年4月名古屋大学大学院理学研究科教授，15年4月同学物質科学国際研究センター教授，同学大学院理学研究科教授（兼任）。23年度日本化学会東海支部支部長。受賞：第35回日本化学会学術賞（2018年）。専門：光物理化学。

ひばら
火原 彰秀

東京科学大学理学院化学系 教授。2003年東京大学博士（工学）。同年東京大学工学系研究科講師，07年同学生産技術研究所准教授，13年東京工業大学大学院准教授，16年東北大学多元物質科学研究所教授，23年東京工業大学理学院教授，21～22年度化学とマイクロ・ナノシステム学会会長。受賞：日本分析化学会奨励賞(2008)，化学とマイクロ・ナノシステム学会奨励賞(2014)。専門：分析化学。

みづた
水田 勉

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授。1985年広島大学理学部卒業，87年同学理学研究科博士課程前期修了，89年同後期退学，91年3月理学博士。89年10月同学理学部助手，94年4月分子科学研究所助手（流動部門），96年4月広島大学復職，2002年6月同学理学研究科助教授，11年9月同教授，20年4月組織再編で現職。専門：錯体化学，有機金属化学。

よう
叶 深

東北大学大学院理学研究科化学専攻 教授。1993年北海道大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了，博士（理学）。同年4月北海道大学理学部化学科教務職員，94年4月同学理学部化学科助手，96年4月同学大学院理学研究科化学専攻助手，97年米国カリフォルニア大学バークレイ校物理学科客員研究員，2000年1月北海道大学触媒化学研究センター助教授，07年同学准教授，15年10月同学触媒科学研究所准教授（改組），17年4月より現職。受賞：日本化学会北海道支部奨励賞（2005年），日本分析化学会北海道支部北海道分析化学賞（2009年），日本トライボロジー学会論文賞（2011年），日本化学会学術賞（2022年）。専門：電気化学，表面化学。

監事
かとう
加藤 昌子

関西学院大学生命環境学部 非常勤講師，北海道大学 名誉教授，青山学院大学 客員教授。1981年名古屋大学大学院理学研究科前期課程修了。同年分子科学研究所技官。86年理学博士。89年奈良女子大学理学部化学科助手，96年同学助教授，2006年北海道大学大学院理学研究科教授，21年より現職。14～20年日本学術会議会員（化学委員会委員長）。19～21年日本化学会理事，副会長。24年～光化学協会会長。受賞：北海道大学 Distinguished Professor (2019)，光化学協会 Lectureship Award (2019)，科学技術分野の文部科学大臣表彰 (2020)，錯体化学会賞 (2020)。専門：錯体化学，光化学。

とみしげ
冨重 圭一

東北大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授。1992年東京大学大学院理学系研究科化学専攻修士課程修了。同年 同学大学院理学系研究科化学専攻博士課程進学，94年同上中途退学。同年東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻助手。97年博士（理学）（東京大学大学院理学系研究科）。99年東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻講師，2001年筑波大学物質工学系講師，04年同学大学院数理物質科学研究科准教授，10年より現職。2023年日本化学会東北支部長。受賞：触媒学会賞（2021年），Associate Editor, Green Chemistry (2023年～)。専門：固体触媒化学，有機資源化学。

ふくだ
福田 伸

北海道大学触媒科学研究所 研究推進支援教授。1986年北海道大学大学院工学研究科原子工学専攻博士課程修了。86年同学助手，90年日産自動車(株)宇宙航空事業部，92年三井東圧化学（現 三井化学）主任研究員，2017年同研究開発本部長 常務執行役員，23年北海道大学触媒科学研究所。18～19年度日本化学会副会長。受賞：吉町先生記念賞・北大工(1981)，真空技術賞・日本真空協会(1997)。専門：表面化学，材料科学，電子材料，R&D マネジメント。

みうら
三浦 雅博

大阪大学先導的学際研究機構 特任教授。1983年大阪大学大学院工学研究科プロセス工学専攻博士後期課程修了，工学博士。84年12月大阪大学工学部応用化学科助手，2005年大阪大学大学院工学研究科教授，21年4月同学先導的学際研究機構特任教授。2013～14年度日本化学会理事，15年度同会近畿支部長，20～21年度同会副会長。受賞：トムソン・ロイター第3回リサーチフロントアワード(2012)，日本化学会学術賞(2013)，グリーン・サイティナブルケミストリー賞・文部科学大臣賞(2014)，フンボルト賞(2015)，石油学会賞(2016)，日本化学会賞(2019)。専門：有機合成化学。

会員委員会からのお知らせ

【日本化学会への入会勧誘のお願い】

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために，なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら，積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。これまで新入会員の情報を紙面に掲載しておりましたが，今後は当会のホームページに掲載方法を変更させていただきます。詳細につきましては，ホームページにてご案内いたしますので，ご確認いただけますようお願い申し上げます。

【会員訃報のお知らせ：2025/3/16-2025/4/15】

6名の方の訃報に接しました。本会はここに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈りいたします。

大口 豊 落合 洋 北川 禎三 仙洞田洋子 中山 孝夫 吉田 俊久

化学だいすきクラブ事業醸金者ご芳名

(令和7年4月16日～令和7年5月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し，厚くお礼申し上げます。

- 10,000円 長内 清志
- 5,000円 茶谷 直人
- 3,000円まで 高原 純一 高橋 三男

化学遺産事業醸金者ご芳名

(令和7年4月16日～令和7年5月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

〇3,000円まで 高橋 三男

「化学振興」活動醸金者ご芳名

(令和7年4月16日～令和7年5月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

〇5,000円 茶谷 直人

〇3,000円まで 高橋 三男 井口 一成 田村 和一

「化学と教育」誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

1. 目次紹介 (第73巻第7号)

ヘッドライン：第31回化学教育フォーラム「生成AIと化学教育の未来」

その他に、[実験の広場]、[新・講座] など。

※内容は変更になる場合があります。

2. 購読方法

【個人】

1) 日本化学会会員の方で、「化学と教育」誌を追加購読ご希望の場合は5,400円(年額)をお支払いいただくことで購読いただけます。追加購読をご希望の場合には【お問合せフォーム】からお申込み下さい。

【お問合わせフォーム】

<https://form.csj.jp/view.php?id=158655>

フォーム入力方法 (ご参考)

①[お問い合わせ内容の種類 - Subjects] : 「全般について」を選択

②[お問い合わせ内容詳細 (全般) - Sub-subjects] :

【会誌】会誌の追加購読申込」を選択

③[追加購読誌 - Journal Subscriptions] : 「化学と教育」をチェック

*以降は必須事項をご入力下さい。

2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は、教育会員(年間会費7,200円)として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が4,800円です。入会申込は、当会ウェブサイトの「日本化学会への入会案内」(<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>)から行って下さい。

【団体】

学校、図書館、官公庁等、団体として購読することもできます。公共会員(年間9,000円)に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。

請求先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

日本化学会総務部会員 G

電話 (03) 3292-6169 ※AIにてご用件を承ります。

E-mail: csj-member@soubun.org